

● オオハクチョウ

ハクチョウ類



POINT

- ① クチバシの黄色い部分が大きく、先が尖って三角形のような形
- ② コハクチョウよりひとまわり大きい

● コハクチョウ



POINT

- ① クチバシの黄色い部分はオオハクチョウより小さい
- ② オオハクチョウに比べ首が短い

● コブハクチョウ



POINT

- ① 黒いコブのあるオレンジ色のクチバシ

カワウとウミウ

※ カワウについては、ガンカモ類の生息調査の際に併せてカウントをお願いします。

○ カワウ



頬の白斑が目の位置より下

ウミウ(調査対象外)



頬の白斑が目の位置より上

ガンカモ類の生息調査の対象種 識別ガイド (2022年度版)

目次

ガンカモ類の識別チェックポイント	1
調査方法	2
間違いやすいカモ	3
近年局所的に多く見られるようになったカモ	4
よく見られるカモ	5
見かけることが少ないカモ	10
ハクチョウ類	11
カワウとウミウ	11

この冊子は、ガンカモ類の生息調査において見られる主なカモ類とハクチョウ類等の識別ポイントをまとめたものです。

平成29年12月発行
令和4年9月 改訂

ガンカモ類の識別チェックポイント

◇ 姿の特徴

1. クチバシ

色や形

2. 頭部

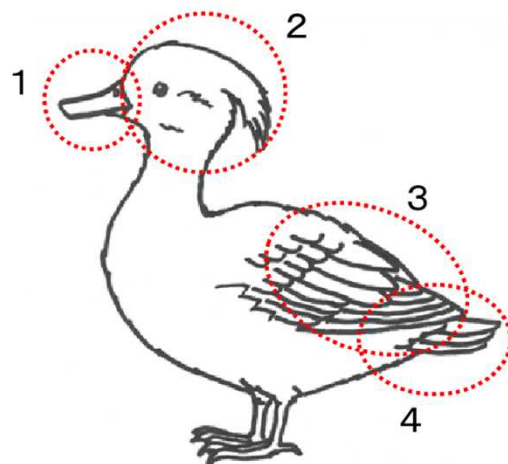
模様や長い羽(冠羽)の有無
目の色

3. 背中の羽

よく見える大きな羽の色や形

4. 尾・お尻の部分

長さや色



◇ 対象ごとの特徴

	カモ類	ガン類	ハクチョウ類
シルエット			
よくいる 場所と時間帯	夜間に湖沼の外で採食することが多く、早朝はまだ戻ってきていないことがある。	昼間は湖沼の外で採食することが多い。	昼間に湖沼の外で採食する場合と、湖沼に留まって採食する場合との両方がある。
調査しやすい 時間帯	午前中の遅めの時間以降に調査するのが適している。	日の出と日没ごろが調査に適している。	各調査地の状況による。

見かけることが少ないカモ

○ カワアイサ 警戒心が強く岸から遠くにいることが多い。



POINT

- ① 赤く先端が鋸型になっているクチバシ
- ② 緑色光沢のある頭
- ③ 首から下は白い



POINT

- ① 赤く先端が鋸型になっているクチバシ
- ② 頭の後ろの羽が長くボサボサしている

○ ミコアイサ 警戒心が強く岸から遠くにいることが多い。



POINT

- ① 短く灰色のクチバシ
- ② 目のまわりが黒い



POINT

- ① 短く灰色のクチバシ
- ② 頭の上部は茶褐色
頬から首までの白さが目立つ

よく見られるカモ

● ホシハジロ

湖沼や流れの穏やかな河口などにおいて、スズガモやキンクロハジロの群れに少数が混ざることがある。



♂



♀

POINT

- ① 真ん中が青灰色で根本と先が黒いクチバシ
- ② 赤茶色の頭、白い背中
- ③ 黒いお尻

POINT

- ① 黒っぽく青灰色の線があるクチバシ
- ② 目のまわりが白い

● オシドリ

広葉樹に囲まれた池や川の上流、ダム湖などに多く、水際の茂みに隠れていて見つけにくいことがある。



♂



♀

POINT

- ① 赤く先が黄白色のクチバシ
- ② 極彩色のある頭色
- ③ イチョウ羽とよばれる羽がある

POINT

- ① 赤みのある黒いクチバシ
- ② 目まわりのリングが後ろにのびる

調査方法

調査方法の一例を紹介します。

◇ 持ち物

- ・ 筆記用具と調査用紙は必須です。
- ・ 双眼鏡や望遠鏡、カメラ、カモをカウントするカウンター、図鑑などがあると便利です。

◇ 調査範囲

- ・ 調査範囲が決まっている調査地では、その範囲のすべてを調査してください。
- ・ 範囲があいまいな調査地では、見える限り遠方までのガンカモ類を調査してください。
- ・ いずれの場合も、遠方のガンカモ類を調査する際は双眼鏡や望遠鏡を使用してください。

※ ガンカモ類は数十メートル離れると裸眼での識別が難しくなります。

◇ 数が多すぎてカウントが困難な場合

- ・ 50羽単位や100羽単位で記録してください。

◇ 種類がよくわからない場合

- ・ 無理に決めずに「種不明」として記録してください。

★本ガイドでは「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」の検査優先種(旧:リスク種)を次のように表示しています。

●: 検査優先種1 ●: 検査優先種2 ○: 検査優先種3

写真提供

大塚之稔・神山和夫・染谷カーシャ・高田みちよ・長嶋宏之・中田正弘
長谷部真・藤波不二雄・三木敏史・箕輪義隆・守屋年史・渡辺美郎

(50音順、敬称略)

間違えやすいカモ

特に誤認が多い種類のため、調査の際はご注意ください。

● キンクロハジロ

湖沼や河川の流が穏やかな場所にいる。
人から餌をもらえる場所にも多い。



POINT

- ① 鉛色で先が黒いクチバシ
- ② 頭の後ろに長い羽
黄色い目
- ③ 白い側面

POINT

- ① クチバシの付け根のまわりに
白色部がある個体もいるが、
スズガモより不明瞭
- ② 頭の後ろに長い羽
黄色い目

● スズガモ

海にいる。河口部を除けば河川や池にいることはまれ。



POINT

- ① 鉛色のクチバシ
- ② キンクロハジロと違い
頭の後ろに長い羽はない
- ③ 白い側面と、白地に黒く
細かい波線がある背中

POINT

- ① 鉛色のクチバシの付け根の
まわりに大きな白色部がある
- ② キンクロハジロと違い
頭の後ろに長い羽はない

よく見られるカモ

○ カルガモ

いろいろな場所で最も普通に見られる。別名でクロガモと
呼ばれることもあるが、本調査ではカルガモと記録する。



雌雄はほぼ同色

POINT

- ① 先が黄色いクチバシ
- ② 目元に黒褐色の線

○ コガモ

日本で見られるカモの仲間でいちばん小さい。



POINT

- ① 黒いクチバシ
- ② 茶色い頭で目の後ろが緑色
- ③ お尻の脇が黄色

POINT

- ① 黒色のクチバシ
- ② 目元に黒い線

よく見られるカモ

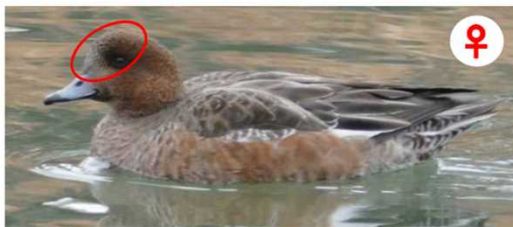
● ヒドリガモ

水草だけでなく陸上の草も食べるため、草地のある川や公園でも見られる。大きな湖、河口、沿岸域では大群になることもある。



POINT

- ① 鉛色で先が黒く短いクチバシ
- ② 額から頭頂がクリーム色
額が出っ張っている
- ③ 黒いお尻

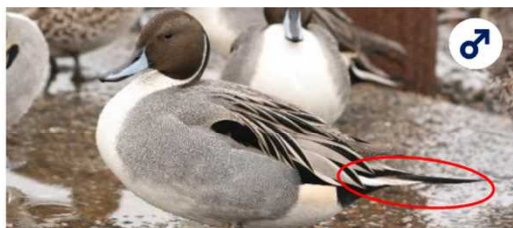


POINT

- ① 鉛色で先が黒い短いクチバシ
- ② 額が出っ張っている
他種の♀よりも褐色味が強い

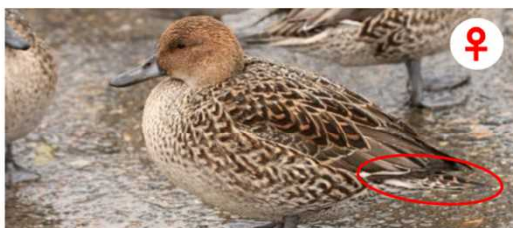
● オナガガモ

人から餌をもらえる場所に多い。河口や沿岸で大きな群れになることもある。



POINT

- ① 両側面が鉛色のクチバシ
- ② 長い尾羽
- ③ 目の後ろから胸が白い



POINT

- ① 黒味のある鉛色のクチバシ
- ② 長い尾羽

間違えやすいカモ

特に誤認が多い種類のため、調査の際はご注意ください。

○ クロガモ (調査対象)



POINT

- ① 海にしかない
- ② 全身が黒く、上クチバシが黄色

○ オオバン (調査対象外)



POINT

- ① 海よりも河川や湖沼に多い
- ② クチバシと額が白い

近年局所的に多く見られるようになったカモ

近年、特定の湖沼に大群で飛来することがあるため、調査の際はご注意ください。

● トモエガモ



POINT

- ① 顔に特徴的な黄白色と緑色の模様

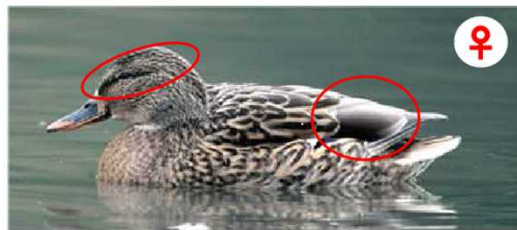


POINT

- ① クチバシ根本に白い斑紋
- ② コガモの雌に似ているが、
背中の羽は黒く、明るい褐色の縁取りがある

よく見られるカモ

● **マガモ** いろいろな場所で最もよく見られる。



POINT

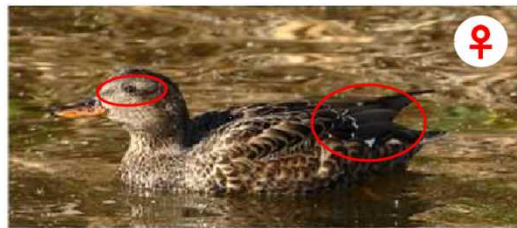
- ① 黄色いクチバシ
- ② 緑色光沢のある黒い頭
白い首輪模様
- ③ 背中にヘラのような羽

POINT

- ① 橙色に黒い部分がある
クチバシ
- ② 目元に黒く細い線
- ③ 背中にヘラのような羽

○ **オカヨシガモ**

数羽から数十羽の群れでいることが多い。
メスはマガモに似ているが、背中の羽で識別できる。



POINT

- ① 黒いクチバシ
- ② 黒いお尻
- ③ 灰色主体で落ち着いた配色

POINT

- ① 橙色に黒い部分がある
クチバシ
- ② マガモに似ているが背中
にヘラ状の羽はない

よく見られるカモ

○ **ハシビロガモ** しゃもじのようなクチバシを水面につけながら進み、餌をとる。



POINT

- ① 黒く幅の広いクチバシ
- ② 緑色光沢のある頭と
黄色い目
- ③ 茶褐色の脇腹

POINT

- ① 黒っぽい橙色で幅の広い
クチバシ

○ **ヨシガモ**

数羽から10羽ほどの群れが多い。クチバシが黒いメスには
本種のほかにコガモがいるが、コガモより頭頂部が丸い。



POINT

- ① 灰黒色のクチバシ
- ② 赤紫と緑色の頭
- ③ カーブしながら垂れ下がる羽
- ④ お尻の脇に淡黄色の大きな斑

POINT

- ① 灰黒色のクチバシ
- ② 顔は灰色味をおびる
- ③ マガモやコガモのような
目を通す黒い線はない